

沖縄県社保協ニュース



沖縄県社会保障推進協議会
会長 新垣安男 事務局長 高崎大史
那覇市古波蔵 4-10-53 健康企画ビル 3階
沖縄民医連内 098-833-3397 Mail:okisyaho@gmail.com

20200303

20期 No.22

《部内資料》

自治体キャラバン 2019⇒2020 2020年度の社会保障運動発展へ 学習交流会を開催

◇日時 2020年2月21日 18時—20時15分

◇会場 那覇教育会館 3階ホール

◇参加者 36名

司会 比嘉直樹 沖縄協同病院事務次長

会長挨拶 新垣安男 県社保協会長

私たちのキャラバンは年々発展してきている。去年は500名を超える参加。

安倍政権は全世代型社会保障といいながら、全世代の改悪をすすめている

6月には最終報告が出る。自治体でどうとりくむか、学習会を成功させ、準備を進めよう



国保問題のまとめと課題

知念三四志 沖商連事務局長

(資料参照)

昨年11月開催の国保改善全国大会は、全国知事会はじめ地方団体が主催。国保の構造的な問題、国庫補助が増えない限り解決しないことは明らか。

国保都道府県単位化2年目。県内半数の自治体が赤字解消計画を提出している。国保税引き上げが心配されたが、2019年度は、引き上げは少数。しかし、全国では値上げラッシュが始まっている。沖縄では国保アンケートや署名を集めてきた。地方議会決議も14議会。

キャラバン基本総括案では「国保税引き上げを止めている力は、生活実態と世論、そして担当者のがんばりにあるが、せめぎあいは厳しくなる」

この間の引上げは「均等割り」中心。所得に関係なく、大変。糸満市が一番高い。27000円。

問題点は自治体ごとに指摘が必要。

キャラバン回答で国庫補助増額要請は一致。法定外繰り入れが赤字解消として圧力がかかっているが、県の回答は「市町村の裁量権」ここは守っている。

2024年までに赤字解消と統一保険料、「目指して市町村と協議」期限を外させるたたかい均等割り減免には、消極的。

横浜市は短期保険証を全廃。厚労省通達どおりやれば、簡単には出せない

全国的には子どもの均等割り減免自治体が少しずつ増えている

2020年度も19年度同様の取り組みが必要。

キャラバンは年に1回なので、自治体ごとのフォローが今後の課題

(フロアから)

大宜味村議会議員 吉浜覚

国保の関係で臨時議会あり。4月から資産割なくし、段階的に法定外繰り入れを削減する。しかし、負担できない背景ある。県全体の運動も必要。

生健会 瀬底律子

野党共闘の共通政策に1兆円の国保への国庫補助が入れば良いと思う

子ども医療費のまとめと課題 西銘耕史 沖縄県保険医協会事務局次長

(資料参照)

2015年実施、沖縄県による子どもの貧困実態調査で貧困率29.9%

2017年1月 南風原町で初めて中学卒業まで現物給付

2017年10月 保険医協会で学校歯科検診調査 72%が未受診 4割以上「口腔崩壊ある」
受診しない主な理由は、「経済的」「仕事」「理解不足」

2018年6月「沖縄県子ども医療費無料制度を広げる県民の会」結成

医師会、自治体首長、学者など多くの賛同、署名も約18000筆で県議会で採択

2019年2月で2万筆を超える

子ども医療費の動向は、国による現物給付へのペナルティが就学前までは廃止され

沖縄県でも2018年10月に就学前まで「現物給付」

しかし、県の次のステップは「早ければ2022年度に小学卒業」

県内市町村は拡充に賛同しつつ、一部独自財源では困難も

2020年度キャラバンに向けて、那覇市が2021年度までに中学卒業まで無料化を表明したことを受け、県全体に広めたい。

国に向け、子ども医療費無料制度創設、現物給付へのペナルティ廃止要請する

あらためて「県民の会」でアピール賛同メッセージ署名をよびかけ1073筆集まっている。3月13日に県庁提出予定。引き続き取り組んでいく

NHK クローズアップ現代で「子ども医療費有料化」を称賛。「意識改革」？につながる

引き続き、運動へのご協力をお願いします

介護問題のまとめと課題 屋良樹一 沖縄医療生協介護事業課長

資料参照

安倍首相は「介護保険を変える」⇒お金を削るだけ

国の見直し案 多くは世論と運動の成果で「見送り」

○介護保険料とる年齢引き下げ20歳からに

○多床室からも「部屋代」をとる

○介護度12の保険外し

○介護保険利用料原則2割負担へ引き上げ

○ケアプラン有料化(しかし次の改定でケアマネ処遇改善と抱き合わせで狙う)など

介護報酬で厳しく「削減」も予想される

2019 キャラバンの自治体の回答はとてよくない「国の動向を見守る」

2020 キャラバンはとて大切

フロアから

○本日広域連合の会議あり。国の動向見守る立場で、ケアプラン有料化に賛否示さず。自治体も国の言い分「大変だ大変だ」に影響受けている。キャラバンが大事です。

○交付金によるインセンティブをしっかり学習すべき。自治体がいいなりになる仕掛け。市町村分析が必要。

子育て支援のまとめと課題 宮里節子 新婦人沖縄県本部事務局長

(資料参照)

フロアから

○就学援助 市町村格差大きい。県の宣伝で権利として前進。

給食費は、宜野湾市のように無料から後退も。「愛情弁当論」も。教科書無償化を教訓に、26条2項を根拠に完全無償化をめざそう。

○就学援助 入学準備金支給前進。だがまだ残っている。2020 キャラバンの課題。またせめて国の基準は全市町村でやってほしい。

生保問題のまとめと課題 照屋つぎ子 生活と健康を守る会

生健会独自の要請、1月に県庁要請した。憲法で保障された申請権保障を宣伝してほしい。

しおりについて、憲法の記載、カウンターへの配置など前進あり。保護決定については14日以内の法規定が順守されておらず、一か月が通常、浦添市は14日以内、浦添でできてほかでなぜできない？格差がある。浦添90%、豊見城20%。

障害者問題のまとめと課題 朝妻彰 きょうされん沖縄県支部 支部長

(資料参照)

2019 キャラバンは16名要請に9名参加でした。2020は上回る参加をめざしたい。

「65歳以上の介護保険優先原則」市町村格差あり。厚労省通知どおりに柔軟に運用できていない。併用ができていない。「同行援護」は介護保険にないので移行できない。事務的に適用例が全国ではいくつか裁判になっている。

福祉避難所について、改善進んでいない。熊本地震でも不十分さ露呈。

障害者雇用について、近く達成の見込み。ただし、種別限定は課題。身体に偏る。重点課題。

自治体アンケート冊子は様々な機会に活用できるので有効です。



フロアから

○那覇市交渉でバリアフリーの一員として42団体の一つとして加入。きょうされんとも連携したい。

年金問題、介護、障害、生保とも連携が必要。

○65歳以上介護保険優先原則について、負担金について、どのように要請すればいいか？

障害者福祉は経過措置で事実上無料になっているが、介護保険は1割負担。償還払いの減免制度は一応講じられている。

○西原町は福祉避難所ありです。⇒訂正します。県のホームページが更新されていないかも。

年金問題のまとめと課題 山里昌毅 年金者組合

(資料参照)

2019 キャラバン参加要請は 20 名でしたが 24 名参加できました。

回答としては、広報は免除制度を広報誌などでやっている。受給資格 10 年に短縮したので無年金者は減る。無年金者掌握は、年金機構にかわったため不可能。

2 か月ではなく、毎月支給は、厚労省要請項目になった。キャラバンの成果である。

政府は老後に 2000 万円必要というが、高齢世帯の 16%が貯金ゼロ、35%が 300 万円以下、程遠い実態。国民年金はそもそも生活保護基準以下。2384 万円平均というが、中央値は 1639 万円、大金持ちと格差は大きい。

自治体に国にモノが言えない弱さがある。

2020 キャラバン要求では、2019 を基本にしなごら、「無年金者数」⇒「普通徴収の人数」へ変更。15000 円以下の年金の方となる。

国連から、年金改善の勧告、最低補償年金は世界の流れになってきている。

100 年安心の年金改革は破綻。マクロ経済スライド廃止を。国を変えていくたたかいかも重要。



フロアから○最低補償年金 8 万円が年金者組合の要求。

○大宜味村の吉浜村議から

昨年 9 月議会で介護改善意見書は否決されました。しかし、大宜味村の老人クラブ連合会は「75 歳以上 2 割負担反対」署名と「介護改善」署名について、取り組んでいくことが決まりましたのでご報告したいと思います。(大きな拍手)

閉会あいさつ 高崎大史 県社保協事務局長

各分野からの報告提案ありがとうございました。

本日の報告をもとにして、3 月中に、キャラバン 2020 にむけた「自治体アンケート」と「自治体要請書」の一次案を作成したいと思います。コロナウイルスの関係で代表者会議が開けなくなるかもしれませんので、作成に当たっては会長と事務局に一任お願いします。

通常国会で「全世代型社会保障」が提起され、社会保障の考え方全体がひっくりかえされようとしています。2020 年度も社会保障全体への攻撃をはねかえすために連帯共同して、キャラバンだけでなく大きな運動を広げていきましょう。

参加者感想文より

○全世代型社会保障の狙いを知らせること、どのように大企業に応分の負担をさせるか、引き続き各団体と連携した運動を。そのようなことを強く感じました。

○各団体の取り組み、到達を知ることができてよかったです

○2020 キャラバンの日程は社保協事務局へ一任します

○いろいろな分野のとりくみや問題が聞けて有意義であった

○2020 キャラバンのスケジュールは状況が流動的なので事務局案に従います

○各分野からの報告大変学びました。保育の給食費負担、ふりかえてみるとかつては保育料の中に給食費込みでしたが、「無償化」という名のもとに給食費が負担となり、保育士に事務負担が加わる。安倍政権の生活破壊攻撃にどう抗いはねかえしていくか、正念場のたたかいです。

○沖縄のこどもの貧困について、今後も引き続き、調査および要請を行っていく必要があると思いました。

○個人としても介護問題について興味深い内容になっていてとてもよかった